

## 府中市協働事業 第三者評価シート

事業名称	平成28年度「参加・体験・感動！ふれあいこどもまつり」
事業実施者	府中子ども劇場 / 文化生涯学習課
事業目的	市内の子どもたちに生の舞台芸術の鑑賞等による芸術文化に触れる機会を提供することにより、豊かな感性や自己表現力を育む体験の場を作る。
事業内容	市内の子ども及び保護者(その他市民)を対象とし、親子で楽しめる生の舞台上演や、無料の工作体験等のイベントを実施する。
事業目標	市内の子どもたちが舞台芸術体験を重ね、定着することで、文化芸術に対する理解、感性が熟成され、将来の文化芸術の担い手となる。

1 評価結論	B:協働事業として適切であるが、一部改善することで、更なる発展が期待できる。 事業は芸術文化を身近に触れる機会としてとても良い。協働の視点ではお互いの専門性を尊重するあまり双方相手任せな点があったものの、課題の共有はできている。お互いの理解を深めることで更なる協働の広がりが期待できる。
2 事業について	子どもたちが芸術文化に触れる機会の提供として素晴らしい事業であるが、企業等の協賛や助成金を活用するなどし、チケットの価格を下げることで更に舞台芸術を身近に感じていただけるよう、引き続き取り組んでいただきたい。
3 協働の広がりの可能性	地域のボランティアや自治会の協力を得ながら地域資源を活用するとともに、主管課だけではなく関係課とも連携を図ることで、更なる協働の広がりの可能性がある。また、行政との協働のみでなく、企業と協働することにより、運営への支援につながるなど、更なる発展が期待できる。
4 意見交換会を踏まえて	相互の専門性を尊重しており、目的や課題、改善点も共有されている点は評価できるが、相手を尊重するあまり双方相手任せな点が見受けられる。情報共有を密にすることで、更に特性を活かし、より効果的な事業となることが期待できる。
5 まとめ	団体の想いに対して市側が受身に感じられたが、双方で課題の共有や反省等を理解している。お互いの役割をもっと理解することで、周知方法の改善や更なる協働の広がりが期待できる。

【評価の結論】 A:協働事業として適切で優れていると評価できる。

B:協働事業として適切であるが、一部改善することで、更なる発展が期待できる。

C:協働事業としておおむね適切であるが、一部改善の必要がある。

D:協働事業として取り組むにはかなりの改善が必要である。

E:協働事業としては不十分であった。

## 府中市協働事業 第三者評価シート

事業名称	府中農業応援隊
事業実施者	トランジションタウン府中 / 経済観光課
事業目的	府中の農業や農産物について市民や事業者を紹介し、農産物の利用を増やし、農業振興や農地保全の一助とする。
事業内容	府中農業をPRするミニコミ誌「府中はたけ日和」の発行。 執筆者募集のためのライター養成講座の開催。
事業目標	市民の市内農業への関心を向上させ、農産物の利用を増やし、また、イベントを通して個別農家のファンや援農者を増やす。

1 評価結論	B:協働事業として適切であるが、一部改善することで、更なる発展が期待できる。 市と協働で実施することで、援農につながることができており、協働の成果が得られている。情報共有をより密に行うことで、協働の広がりや更なる事業の発展が期待できる。
2 事業について	冊子は好評であり、農家にとって心強い事業である。今後更に周知を図るとともに、販売店などの流通経路を掲載することで、農家の利益拡大や府中ブランドの創出につなげていただきたい。
3 協働の広がりの可能性	より情報共有を図り、互いの特性を理解するとともに、事業の継続、周知の拡大により更なる協働の広がりの可能性がある。地域への周知、特に都立農業高校や東京農工大学とも協働することで、次世代の育成につながるとともに、援農者、応援者、協賛企業の拡大も期待できる。
4 意見交換会を踏まえて	双方課題も共有されており、今後期待できる事業であると評価できる。
5 まとめ	事業成果は素晴らしいものであり、団体の努力が良く見え、評価できる事業である。双方情報共有に課題を感じているものの、その課題を共有できているため、今後期待したい。また、より情報共有を行うことで、更なる広がりを見せ、協力者の増加や次世代の育成につなげていただきたい。

【評価の結論】 A:協働事業として適切で優れていると評価できる。

B:協働事業として適切であるが、一部改善することで、更なる発展が期待できる。

C:協働事業としておおむね適切であるが、一部改善の必要がある。

D:協働事業として取り組むにはかなりの改善が必要である。

E:協働事業としては不十分であった。